

「気持ち」を伝える英会話

文化
なかの

中野市公民館報

2013

No.102
(通巻No.634)

9

発行
中野市中央公民館

編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342



デビット先生を囲んで

デビット先生、お元気で！

豊田公民館の初級英会話教室は、毎週火曜日夜7時から開講しており、小学生から大人まで楽しく英会話を学んでいます。5年間講師を務めていただいたデビット・マーティン先生が、この7月でA.L.Tの任期を終え、帰国されることになりました。そこで、受講生が中心となり、感謝の気持ちを込めてパーティーを開催しました。

パーティーでは、みんなで思い出を語り合いながら、楽しいひとときを過ごしました。受講生OBの方がクラリネットを披露してくださり、生演奏つきのパーティーというちょっと優雅な雰囲気になりました。ひとりひとり前に出て、感謝のメッセージを伝えて別れを惜しむなど、デビット先生がとても慕われていたことが伝わるあたたかいパーティーでした。

9月からは、アンソニー・ブレア先生が務めます。こんなにもあたたかい教室に、ちょっと参加してみませんか。

今月号の特集

公民館の
夏休み子ども教室

あおぞら

春先、我が家の屋根裏にネズミが出没するようになったある日の夜、明らかにいつも聞いているネズミの小さな足音ではない、もっと大きな足音が聞こえるようになった。この足音の正体はなんと、ネズミを捕りに来たハクビシンである。

夜になると度々練り広げられる、ハクビシンとネズミの運動会(笑)に悩まされていた。何か対策を取らなければと

考えていた矢先の夜、天井裏からドスンと大きな音と同時に「メリッ」と何かが剥がれる音が家中に響いた。恐る恐る音が聞こえた部屋を見に行くと、なんと天井の一部の板が剥がれていたのだ。どうやらハクビシンが、屋根裏の柱から足を踏み外して落ちたらしい。天井が抜けてはいなかった為、部屋に侵入する事はなかったが、もし落ちていたらと思うとゾッとする。

慌てて大工に天井を直してもらい、侵入経路を見つけふさぐ措置をした。ネズミの通り道には退治用の薬を置き、それからは我が家に静寂が戻った。

ハクビシンよ、我が家にはもう入れないから来ても無駄だぞー。(つゆ)

夏休みを満喫



7月・8月の夏休み期間中に、各公民館で行った子ども教室を紹介します。



化石博物館でレプリカづくり



中条村宮遺跡にて



中央公民館

子ども育成講座「公民館塾」が8月8日(木)・9日(金)にわたり開催され、市内小学生24名の参加がありました。

初日は、午前中に中条歴史民俗資料館の見学で歴史的農耕具



ビンゴゲームでアフリカの国名あて

等にふれました。午後は信州新町化石博物館で、化石のレプリカ作り体験と信州新町周辺で採取された化石の見学をしました。2日目は午前中に信州大学教育学部教授阿久津昌三先生による「アフリカ」についての話を聞き、カレーライスをみんなで作って食べました。午後には北信レクリエーション協会による頭と体を使ったレクリエーションを行い、その後、関東財務局長野財務事務所の職員による「お金について」の話を聞き、1億円のレプリカを持って重さを体感しました。子どもたちは2日間いろいろな体験をしましたが、「楽しく参加できました」と感想が寄せられました。



石器体験教室

「石器体験教室」原始人に挑戦！を7月30日(火)・31日(水)に、「花あそび教室」いけばな体験を8月6日(火)に開催しました。石器体験教室では、小学生と保護者、ボランティアとして立志館高校生が参加。初日は野尻湖ナウマンゾウ博物館へ行き、同館の中村学芸員の指導で旧石器人類と同じ作り方で「ナイフ形石器」を作りました。また、野尻湖人の生活やナウマンゾウの絶滅について学び、ナウマンゾウの歯の化石を手を持つこともできました。翌日は、石器を使ってカレーライス作り。悪戦苦闘すること1時間半、カレーライスが完成。「石器を作るとき、石を削るところが難しかった」



北部公民館



花あそび教室

「石器で肉や野菜はよく切れたけど、野菜の皮をむくのが大変だった」「原始人はいつもの生活も大変だということがわかりました」という感想でした。花あそび教室では、市内の親子が参加。講師の北部華道会から花の綺麗ないけ方について教わった後、芳しく色とりどりの花を使って花器に自分らしい花の世界を作りました。色とりどりの花が花器いっぱいにいけられた物から、花の広がりや高さまで考え抜いて作った物まで、それぞれの個性が感じられる生け花ができました。「初めての花あそび教室、上手にできてうれしかった」「同じ花材を使っても人それぞれ違うものとなり、お花の表情や枝の作りを見極めるのが難しいと感じました」と感想がありました。

特集 公民館レポート



公民館で



オリジナルコースで競争だ！
(ロボットカー工作講座)

た。最後には保護者の方が夢中で作っている講座もありました。子ども達はそれぞれの講座で夏休みの貴重な時間を元気にいっぱい楽しんでいます。



糸ノコギリに初挑戦！(親子で木の車とアクセサリを作ろう)

月3日(土)に、走り方教室は8月9日(金)に、ロボットカー1工作講座は8月11日(日)に行い、大勢の子ども達が参加してくれました。
親子で木の車とアクセサリを作ろうでは初めての糸ノコギリ、ロボットカー工作講座では初めての糸だこてなどを使い、普段できないことに挑戦しました。



目指せ1等賞！(走り方教室)

西部公民館

西部公民館では夏休み子ども教室を開催しました。シャドールボックス講座は7月31日(水)に、実木草くらふと講座は8月2日(金)に、親子で木の車とアクセサリを作ろう講座は8



上手に包めるかな (おやきづくり体験)

豊田公民館では夏休みを利用して、親子で参加できる小中学生向けの体験型教室を開催しました。ローカルな体験こそが、グローバルな社会に出たとき生きてくると感じました。
7月27日 土曜日
ふるさと自然体験〜野鳥の観察〜
信州野鳥の会の出野富永さんと千曲川や篠井川を巡りました。青くてきれいなカワセミや、アオサギの営巣など中野の豊かな自然を体感してきました。
なかなか覚えられない？でも大丈夫。一回参加したら一種類ずつ覚えて帰れば、だんだん野鳥も覚えられるはずだよ！
7月28日 日曜日
あちやま！美味しい！
おやきづくり体験
「あちやまおやき」を作って

豊田公民館



レンズの先には？(野鳥の観察)

信州各地で作られているおやきでも、地域によって作り方が違うんですね。蒸かした後、焼くのは初めて知りました。
手にくっつく生地に悪戦苦闘したけど、終わるころにはみんな「家に帰ってまた作りたいね」なんて話していました。
8月11日 日曜日
ふるさと自然体験〜天体望遠鏡で星空を覗こう〜
信州中野天文同好会のみなさんに教えてもらいながら、夏の星空を観察しました。同好会のみなさんが持ってきてくれた望遠鏡は、まるで小さな天文台の様でした。土星の輪っかや、織姫(琴座のベガ)や彦星(わし座のアルタイル)もはっきりくっきり見えました。

こんにちは 分館

牧ノ入地区は、中野市の北部に位置し、木島平村と境を接しています。田上から、くねくねとした道を上り、峠を過ぎパッと展望が開けると、今は閉鎖された牧ノ入スキー場が目飛び込んできます。これは冬季の話。今は緑豊かな山麓です。ここに牧ノ入分館があります。牧ノ入の夏は学生の合宿で、テニス・アーチェリー・ダン

牧ノ入分館

ス・サッカーと若い歓声に包まれますが、春は山菜採り、秋はキノコ採りの人々で賑やかになります。山は、いろいろな山菜やキノコをもたらししてくれます。一方で、最近、山に熊が出没し騒がれていますが、牧ノ入では当たり前の話です。

牧ノ入分館では、今までの公会堂が古くなったので、市からの活性化資金を活用しみんなが気軽に利用できる施設にすることになりました。畑の中にあつた馬小屋を改造し公民館にしようという計画し、みんなで取り組み三百万円以内で改造が出来ました。(牧ノ入分館長 稲葉武治)



牧ノ入公会堂しゅん工 区民のつどい

ふるさとの歴史

牧ノ入地区は終戦直後の、昭和二二年に満州開拓引揚者三名のうち池田隼人さんを中心となり開拓計画を調査検討し、農協法による高社開拓農業協同組合を設立し入植が始まった。

最初は九戸が飯山営林署から建築材の払い下げを受け、秋までに住宅が完成。翌年、五戸の入植がありその翌年は新たに二戸が参加したが、開墾の苦しみと食糧難に悩み三戸が離脱していった。道路工事も昭和二十六年に上木島青年団の応援を得て支線道路の九割が完成した。また幹線一号線の完成

開拓地入植の歴史

により資材の運搬が牛車でできることとなり、開墾面積も拡大し個人配分もあり、昭和三十二年には県の無点灯部落解消事業による、電気工事が行われ、秋には待望の電灯がつき、やっと人並みの生活が出来るようになった。

農作物も山ゴボウ、葉タバコ、人参、トマトなど様々な作物が栽培され、養蚕も行われた。

昭和四十一年には、牧ノ入スキー場がオープンし、県下でも珍しいナイター設備、サウナ付きの風呂はテレビでも放映され、リフトも年々増

設され旅館も十三軒になった。現在は、スキー場が廃止され、ほとんどの旅館が営業を終えている。(牧ノ入区長 稲葉武治)



一家総出で野沢菜の収穫

夏の北アルプス(常念岳)

中央公民館では8月17日(土)、18日(日)と市民登山教室を開催し、男性21名、女性6名の計27名が北アルプス常念岳(2,857m)へ登りました。初日は、夏の日差しと吹き抜ける爽やかな風を感じながら、安曇野の一ノ沢登山口から常念乗越まで登りました。2日目は、日本百名山の1つである常念岳山頂まで登りました。山頂岩場から槍ヶ岳などの北アルプス山脈を眺めることができました。下山後、穂高温泉郷の名湯も満喫した登山教室でした。



常念岳山頂での記念撮影

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	パソコンふれあいサロン <内容>パソコンを使用していて、わからないところを指導員がお答えします	毎週月曜日 ※祝日、年末年始を除く 午後1時30分～4時30分	中央公民館 団体室	新技術振興会	<定員>6名 <受講料・申込>不要 ※メニューに沿って進めるパソコン教室とは異なります。
	公民館ギャラリー 中野俳句会				
北部公民館	ベビーマッサージ体験教室 ～楽しい赤ちゃんとの絆づくり～	9月30日(月) 午前10時30分～11時30分	北部公民館	わらべうたベビーマッサージ研究会認定インストラクター 越 三智子 先生	<定員>10名 <参加費>無料 <持ち物>バスタオル1枚・オムツ <内容>ベビーマッサージを通して赤ちゃんとの絆づくり ※託児はありません
西部公民館	アクセサリを作ろう!	9月28日(土) 午前9時30分～正午 ※オリジナルのブローチやペンダントトップを作ります。	西部公民館	湯本千絵 先生	<対象>大人から子どもまで <定員>20名 <教材費>800円 ※小学生は保護者同伴でお願いします。
	母と子のすくぐり学級おやつづくり教室	9月30日(月) 午前10時～午後1時	西部公民館	長島友子 先生	<対象>就園前の幼児とその母親 <定員>16組 <食材費>300円 ※託児あり
	旅行の楽しみ方講座・海外編 ～旅行の醍醐味とポイント・旅行を楽しむコツ～	10月5日(土) 午後1時～3時	西部公民館	元大手旅行社勤務 NPO法人シニア大衆専任講師 京免宣昭 先生	<定員>30名 <受講料>無料 ※旅行のプロから、海外旅行の楽しみ方や注意点を写真を見ながら楽しく学びます。
	ワインの楽しみ方講座	10月6日(日) 午前10時～11時30分 ※ワインを学んで楽しみ方を広げよう!この際色々聞いちゃおう!	西部公民館	日本ソムリエ協会講師 宮澤利彦 先生	<定員>20名 <受講料>無料 <持ち物>無し
スポーツバイク入門講座 中野・小布施サイクリング	10月27日(日) 午前9時30分～正午 会場 晴天時 中野市民プール駐車場(集合・解散) 雨天時 西部公民館で講義	西部公民館	おおぞら自転車クラブのみなさん	<対象>高校生以上 <定員>20名 <持ち物>自転車・飲み物・あればヘルメット <受講料>300円(保険料込)	
豊田公民館	高齢者学級 「健康でいつまでも」きもちいいからだほぐし体操	9月10日(火)・17日(火) 午後2時～3時30分	豊田公民館	長野県健康づくり事業団 五十嵐宏美先生	<定員>30名程度 <内容>仕事や家事の間に気軽にできる健康体操で健康な体をつくりましょう!
	私たちの生活と経済 いったいどうすればベストなの!? 我が国の財政と消費税	9月29日(日) 午後3時から4時30分	豊田公民館	信州大学 経済学部 西山巨章 先生	<定員>50名程度 <受講料>無料 <持ち物>筆記用具
	ストレッチ&ピラティス	10月29日、11月5日・12日・19日・26日 午後3時30分～5時 毎週火曜日	豊田公民館	脇坂れい子先生	<定員>30名 <受講料>無料 <持ち物>ストレッチマットかバスタオル



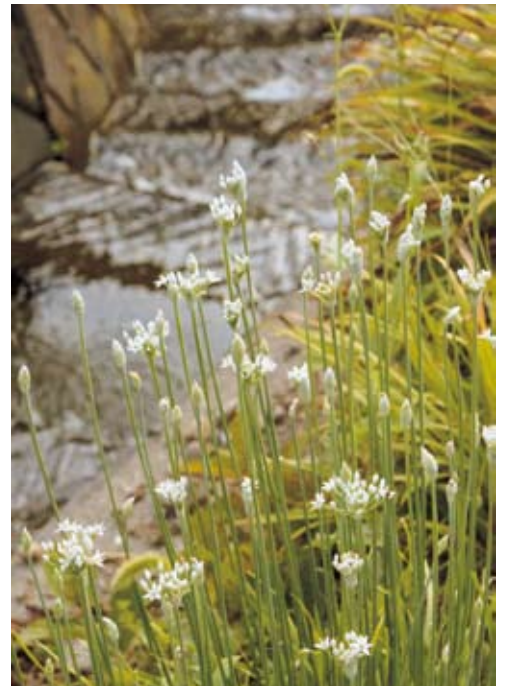
やぶ蘭／一本木 (月岡尚雄)



ヒガンバナ／豊津 (宮澤 聡)



ノアザミ／笠原 (湯本清次)



川辺に咲くニラの花／柳沢 (小林幸成)

花と季節の写真募集

宛先

中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館

☎222・2691

Eメール c-kominkan@city.nakanonagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限り、四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送ってください。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝えください。随時募集!

輝いてます

いる。また、長野PE T画像診断センターで季節に合わせた作品を、通年展示し、7月には、中野陣屋・県庁記念館で『四季のみち』写真展を開催した。佐藤さんにとって「写真は私の一部。これからも撮り続けていきたい」と語ってくれました。



▲飯山市瑞穂にて撮影

ありふれた景色は、一瞬に切り取られ、いったいどの風景だろうかと思う写真に生まれ変わる。「昼間でもこんな写真が撮れるんですよ」と話してくれたのは佐藤計佐二さん。高校生から始めた趣味もすでに58年になるが、ある写真家に出会い学んだことで今があるという。2002年写真クラブ『フォトクラブサンロード』を立ち上げ、長野の『もんぜんぶら座』に毎年作品を展示して